

元自部工国・国第 17 号
令和元年 7 月 22 日

会員企業 代表者各位
同 知的財産関連部署 ご担当者各位

一般社団法人 日本自動車部品工業会
知的財産権部会 部会長 酒井 紀夫



中国・広州および黄埔税関での真贋判定セミナー参加募集のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当工業会知的財産権部会の活動に関しご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、知的財産権部会では2008年より、反模倣品基礎活動の一環として、JAPIA 会員企業の皆様と共に中国の税関等公的機関を訪問、模倣自動車部品の摘発を要請する活動をおこなっています。

過去数年間は、税関、各都市工商行政管理局（AIC）などの知財担当幹部を訪問してきましたが、本年度は、模倣品摘発の実効性を期待し、実際に水際で検査をおこなう税関職員を対象としたセミナーを開催いたします。対象税関としては、最も模倣品の流通量が多いと見込まれる広東省の広州税関および同近隣の黄埔税関を候補として検討しています。

つきましては、本趣旨をご理解のうえ、下記要領にて活動へのご参加を検討いただければ幸甚です。なお、本活動には、会員企業様の中国現地法人からご参加いただくことも可能ですから、現地側へのご連絡についても、ご配慮いただければと思います。以上、よろしく願います。

敬具

記

1. 活動概要

1) 日程（別添1日程（案）参照）

2019年11月6日（水）～同9日（土） 3泊4日

*広州市現地集合、解散型のツアーとして実施。

2) 真贋判定セミナー開催候補税関

広東省広州税関および黄埔税関での開催を検討。

3) 具体的活動内容

下記により当該税関職員に参加各社のブランドや製品を認識していただき、また真贋

判定材料を提供することにより、中国から諸外国への模倣品流出防止を訴求。

- ① 参加各社による製品の真贋判定プレゼンの実施（日本語、逐語通訳対応）
 - * 1社につき日本語で10分程度のプレゼンを想定。中国語でプレゼンする企業は15分程度。
 - * 通訳はJAPIAで手配。
- ② 参加各社の真贋サンプル展示
セミナー会場に参加各社の真贋サンプルを展示、実際に税関職員に見て、触れていただくことにより、現場での摘発活動の容易化をはかる。
 - * 真贋サンプルの展示は任意ですが、展示会同様、実機展示が税関側に与えるインパクトは大きいものがありますので、可能な限り展示にご協力ください。
 - * 真贋サンプルの持ち込み、輸送方法については参加企業様と別途ご相談させていただきます。

4) 参加費用

旅行費用（移動、宿泊、食事代等）および活動管理費（随行する弁護士事務所や通訳者等への支払い）は一旦JAPIAが一括して支払い、後日参加各社に負担分を割振り請求させていただきます。なお、現地集合場所までの渡航費および同解散場所からの移動手段につきましては参加各社様にてご手配ください。

2. 参加申し込み方法

末尾の参加申込書に必要事項をご記入の上、下記担当者までEメールにてお申し込み下さい。

1) 申込締切り

2019年9月13日（金）

2) お申込み、お問合せ先

国際部 日高

Tel：03-3445-4213

メール：hidaka@japia.or.jp

3. 参加申し込みの際ご準備いただく資料

1) 各参加企業様製品の真贋判定プレゼン資料（必須、中国語版）

PPもしくはPDFで会社情報、真贋判定のための情報、中国国内販売および中国からの輸出の際の商流等の内容を盛り込み、写真と図を活用してできるだけコンパクトでわかりやすく作成してください。なお、いただいた資料・データはUSBに収録し税関側に提供します。

2) ブラックリスト等（任意）

上記同様データはUSBに収録し税関側に手交します。

以上